機器と付属品のお手入れ

機器および付属品は、それぞれお手入れの方法やその周期が異なります。
安全で快適にお使いいただくために、以下のお手入れを行ってください。

毎日	マスクと呼吸回路は中性洗剤をうすめたぬるま湯で洗浄します。その後、よくすすぎ、風通しの良い所で日陰干しします。
1週間	ヘッドギアはマスクからはずして中性洗剤をうすめたぬるま湯でもみ洗いします。洗たく機を使用する際は洗たく用ネットに入れてください。
2週間	花粉フィルタ（灰色）を交換します。フィルタは必ず乾いているものをお使いください。使用後のフィルタは洗浄し、日陰干ししてください。
1ヶ月	極微細フィルタ（白色）を交換します。使い捨てですので、新しいものをお使いください。（極微細フィルタはオプションとなります。）

機器背面
花粉フィルタ（灰色）2週間毎に洗浄・交換
極微細フィルタ（白色）1ヶ月毎に交換

⚠ 次の方法でのお手入れはおやめください

マスクや呼吸回路をベンジン、アルコール、塩素系洗剤などで洗わないでください。

日当たりの良い所でマスクや呼吸回路を干さないでください。

機器についてのお問合せ

備品の購入や機器のトラブルなど、お問合せは以下にご連絡ください。
お問合せの際は、お名前・ご利用の機器名・かかりつけ医療機関・取扱業者名などを必ずお伝えください。

● かかりつけ医療機関	● 機器取扱業者・営業所

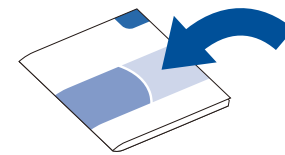
フィリップス・レスピロニクス合同会社
CPAPお客様コールセンター
0120-48-4159（よるはよいこきゅう）
電話受付時間 平日9:00~17:00 土10:00~17:00 ※日・祝日休業
専用ホームページ http://www.48-4159.com/

製造販売業者
フィリップス・レスピロニクス合同会社
〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町一丁目825番地1
本社 〒108-8507 東京都港区港南二丁目13番37号フィリップスビル
マーケティング部 03-3740-3245
www.philips-respironics.jp

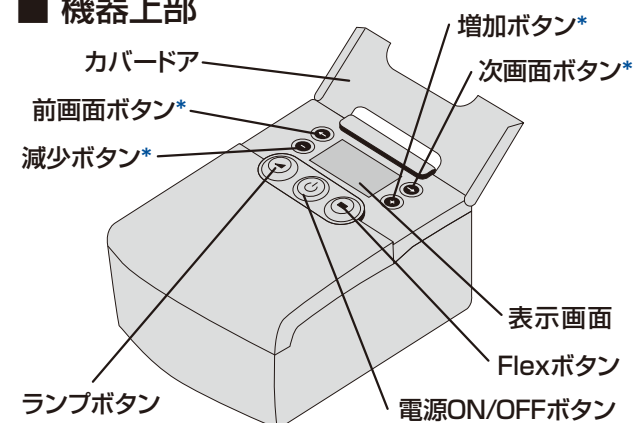
CPAP（シーパップ）装置（レムスター／バイパップオート）の使い方

※本書は取扱説明書にかわるものではありません。必ず正式な取扱説明書をご覧ください。

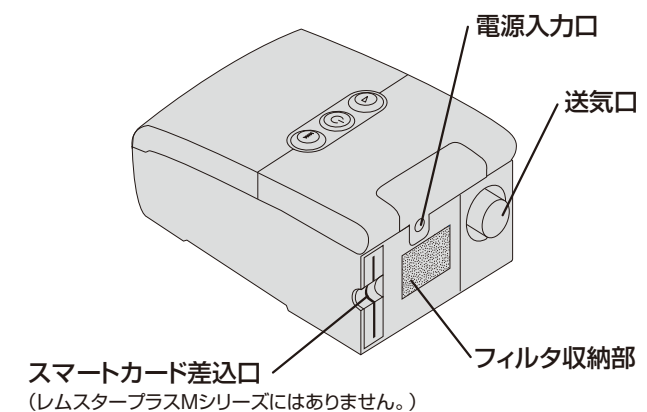
あなたがお使いのCPAP装置は以下の機種です

☐ レムスター Mシリーズ REMstar M Series（オート・プロ・プラス）　☐ バイパップオートMシリーズ BiPAP Auto M Series

付属の患者用取扱説明書「第1章1.1システムの内容（P1-1）」を参照し、付属品がすべてそろっていることを確認してください。

CPAP装置各部の説明

■ 機器上部

＊ 医療従事者用ボタンです。操作はできません。

■ 機器背面

スマートカード差込口（レムスタープラスMシリーズにはありません。）

ご使用の際は、以下の備品がセットされていることを確認してください

極微細フィルタ（白色）
※フィルタは使い捨てです
花粉フィルタ（灰色）
スマートカード
スマートカードには外来診察時に必要なデータが自動的に記録されます。

■ フィルタの取付け

左図のように付属のフィルタを機器に取付けます。
極微細フィルタは「光沢のある面を機器側」にしてはめ込みます。

花粉症をお持ちの方は極微細フィルタの使用をお勧めします。
（こちらはオプションです）

■ スマートカードの挿入

機器使用時には左図のようにカードを背面の差込口に差込みます。
（カードの向きに注意してください）

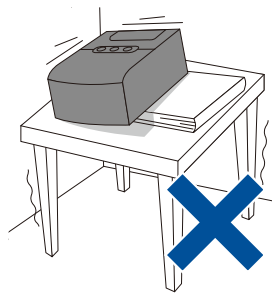
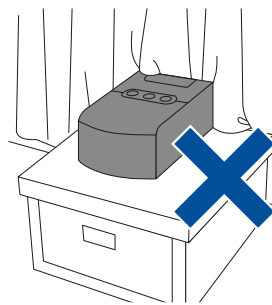
⚠ ご注意ください

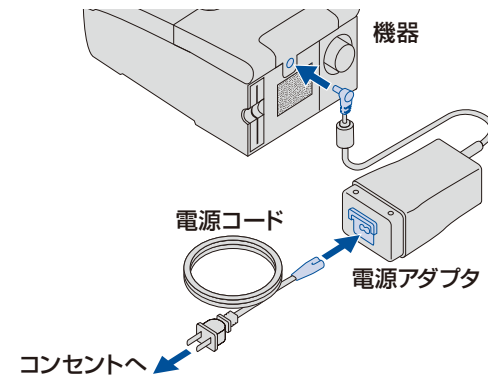
スマートカードを抜く場合は、電源をOFFにした後、90秒待ってから行ってください。この時コンセントから電源コードを抜かないでください。
（機器作動中は、スマートカードを抜かないでください。）

正常にセットされた場合は表示画面に が表示されます。

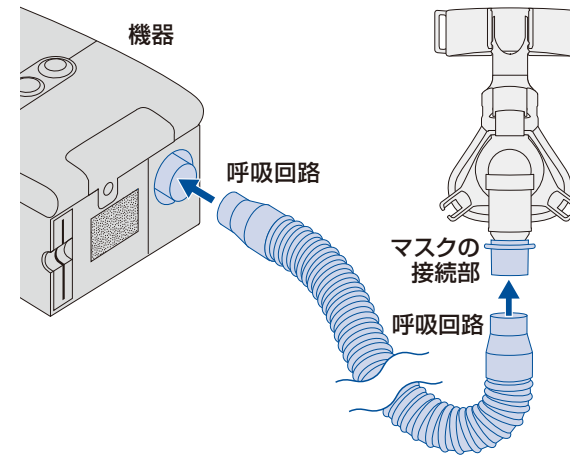
機器の準備

1 機器の設置

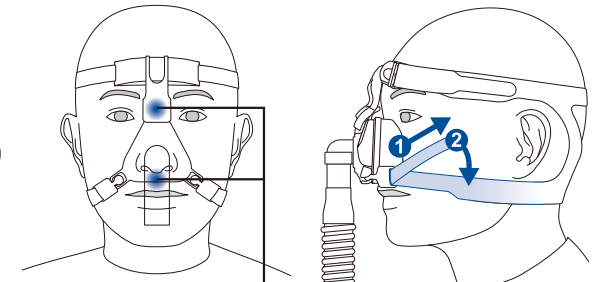
機器をしっかりとした平らな台などに置きます。

フィルタ収納部（空気取込み口）がカーテン布などでふさがれていないことを確認してください。

2 電源コード・アダプタの接続

電源アダプタのプラグを本体背面の電源入力口に差し込みます。電源コードと電源アダプタを図のように接続し、電源コードをコンセントに差し込みます。

※電源コード及び電源アダプタのコードは、過度の曲げや、ねじり、束ねなどによって断線し、発熱・発火におよぶ可能性があります。ご使用前には必ず破損がないことをご確認ください。

3 呼吸回路の接続

呼吸回路の一方を機器背面の送気口に接続し、もう一方をマスクに接続します。

※呼吸回路は両端とも同じ形状です。

4 マスクの装着

マスクを鼻にあて、ヘッドギア（バンド）で固定します。この時、目の方への空気もれとヘッドギアのしめすぎに注意してください。

※マスクの種類により、装着方法が異なるものがあります。詳しくはマスクの取扱説明書を確認してください。

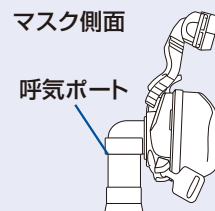
治療の開始と終了

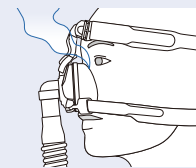
1 送気の開始

電源ON/OFFボタンを押すと送気を開始します。また、マスクを装着した状態で呼吸（3～4回）を始めると自動的に送気を開始します。

※ 空気が送られてきたら口を閉じ、鼻だけで呼吸してください。

マスクの呼気ポートについて

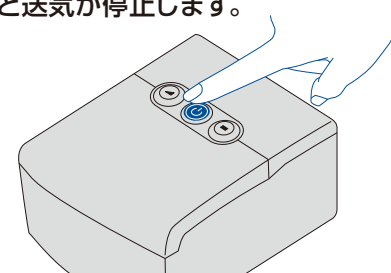
マスクの呼気ポートは、使用する方の呼気を逃がすためにあります。機器の動作中は常に空気がもれていることを確認して使用してください。

マスクが下に向いていると…

目の方に空気もれが多くなるため、額アームとストラップを調整してください。

ランプボタン

使用中に息が吐きづらく感じた時に押します。ランプボタンを押すと送気が最小ランプ圧まで下がり、徐々に治療圧へ上昇します。

※ランプ圧は医師の処方にて設定されています。

2 送気の停止

動作中に機器上面の電源ON/OFFボタンを押すと送気が停止します。

機器を使用しないとき（日中など）は、電源コードはコンセントから抜いておくことをおすすめします。また、機器・呼吸回路・マスクなどは直射日光を避け、ホコリのかからない場所で保管してください。

⚠ ご注意ください

コンセントから電源コードを抜く場合は、電源をOFFにした後、90秒待ってから行ってください。

表示画面のマーク

機器上部のカバードア内部にある表示画面には、以下のマークが表示されます。

マーク	説明
	ランプボタンを押すとランプ機能が開始します。ランプ機能が作動しているときに表示します。
	マスクアラート設定が有効な場合、およびマスクからの過度の空気漏れを検出した場合に点滅表示します。
	オートオフ設定が有効な場合およびマスクを装着していないことを検出した場合に表示します。
	スマートカードが機器に挿入された場合に表示します。カードが正しく挿入されていないときは点滅表示します。